

この図鑑の見方

この図鑑では、江の島の海岸の浅瀬で見られる生き物のうち、魚を除く主な動物（無脊椎動物）を紹介しています。無脊椎動物とは、背骨（脊椎）をもたない動物のことです。

①大きなグループの名前

この図鑑では、海岸動物を5つの大きなグループに分けて紹介しています。

1. イソギンチャクのなかま（刺胞動物）
2. 貝のなかま（軟体動物）
3. エビ・カニのなかま（節足動物）
4. ヒトデ・ウニ・ナマコ（棘皮動物）
5. その他のなかま（海綿動物、扁形動物など）

④種名（和名）

遺伝子や姿形がよく似た生物をまとめた、国内共通の名前です。

⑤種の解説

その動物種を見分けるときに参考になるポイントや、生態（暮らし方）の特徴が書いてあります。

②大見出し

大きなグループの中が、さらにいくつかのグループに分かれる場合には、小さい方のグループ名がここに書かれます。

③大きなグループの正式な名前

①のグループ名には、分類学上の正式な名前が別にあります。少し難しい名前なので、ここに小さくのせてあります。

⑦潮間帯の図

⑧のデータ欄に書かれている「上中下」の説明です。

- 上：潮間帯の上部、中：潮間帯の中部、下：潮間帯の下部、下：タイドプールを表します。タイドプール（潮だまり）とは、潮が引いても岩場のくぼみに海水が残る場所のことです。

⑧データ欄

その動物種の体の大きさ、生息環境などのデータです。

大きさ 足盤径 3cm 環境 南/上中/岩の側面や下面 ☆☆

体の大きさ

体長、全長、甲の長さなど、種によって測り方がちがいます（海岸動物の体の見方→p.10-13）。

生息環境

江の島の中での、その種が見られる場所と環境の情報です。
●「西・東・南」……江の島のどのエリアかを示します（江の島の地図→p.4-5）。
●上中下……潮間帯における位置です。右ページの「潮間帯」の図に説明があります。
●「岩場」「砂れき」など……その動物のいる、周りの環境を示しています。

⑨ひとことコラム

江の島の海岸動物に関する、さまざまな豆知識を紹介します。このほか、江の島の海岸動物を調査観察しながら知ったこと、考えたことなどをつづった1ページ大のコラムもあります（p.19, p.39 など）。

見つけやすさ

江の島での見つけやすさです。☆が多いほど見つけやすい種で、赤い★は、江の島ではめったに見られないめづらしい種です。

イソギンチャクのなかま

イソギンチャクのなかま①

刺胞動物
刺胞という毒針のカプセルをもち、獲物をつかまえて、身を守ったりします。サンゴやクラゲもこのなかまにふくまれます。



ハネウミヒドラ
(ハネウミヒドラ科)
大きさ 群体の高さ 20cm 環境 南/上中/岩や石の上 ☆



イソバナビ
(イソバナ科)
大きさ 群体の高さ 5cm 環境 南/上中/岩や石の上 ☆
扇の羽根のように見える群体の生き物です。軸に支えられた枝はいくつにも分かれ、枝は赤色で、黄色や白色の血管が通ります。



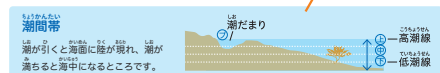
ヨロイイソギンチャク
(ウメボシイソギンチャク科)
大きさ 足盤径 4cm 環境 西・南/上中/岩のすき間 ☆☆☆
おおい緑色から褐色で、体の周りに小石や貝殻をくっつけ、隠れまわります。



ミドリイソギンチャク
(ウメボシイソギンチャク科)
大きさ 足盤径 4cm 環境 西・南/上中/岩のすき間 ☆☆☆
触手は緑色や褐色など多彩な色があります。砂のたまった岩のくぼみで見られます。

⑥動物の写真

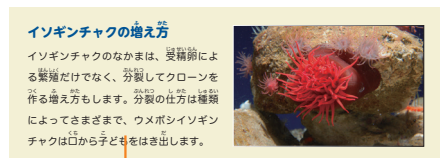
多くの写真は、実際にその動物が見られる場所で撮られています。小さくて顕微鏡で見えるような動物、自然下では体の形が見えにくい動物などは、白や黒の背景で撮影されていることもあります。



ヒメイソギンチャク
(ウメボシイソギンチャク科)
大きさ 足盤径 1cm 環境 西・南/上中/岩のすき間や石の下 ☆
触手はあわい褐色で、体にはたてに並ぶ褐色の斑と、散在した黄色の点があります。



ウメボシイソギンチャク
(ウメボシイソギンチャク科)
大きさ 足盤径 3cm 環境 南/上中/岩の側面や下面 ☆☆
赤色から濃い赤褐色で、岩などに付着します。体を縮めた姿が棒状のように見えます。



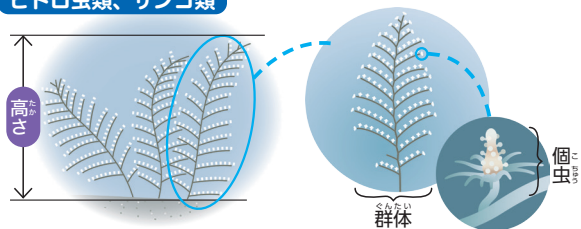
イソギンチャクの増え方
イソギンチャクのなかまは、受精卵による繁殖だけでなく、分裂してクローンを作る増え方があります。分裂の仕方は種類によってさまざまで、ウメボシイソギンチャクは口から子どもをきき出します。

海岸動物の体の見方①

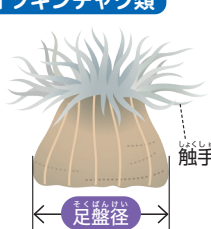
海岸動物の体の大きさは、なかま（分類）によって測り方がちがいます。
この図鑑に出てくる動物の、体の測り方を紹介します。

イソギンチャクのなかま（刺胞動物）

ヒドロ虫類、サンゴ類

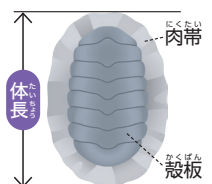


イソギンチャク類

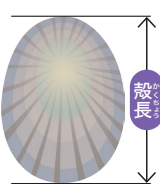


貝のなかま（軟体動物）

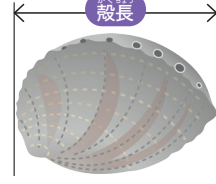
ヒザラガイ類



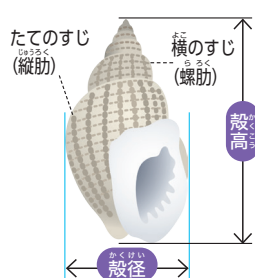
カサガイ類



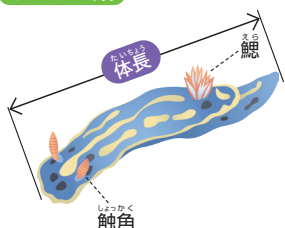
アワビ類



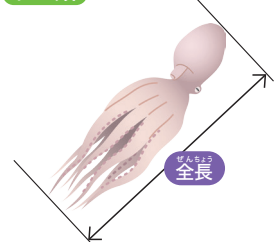
まきがいの 巻きらしい巻貝類



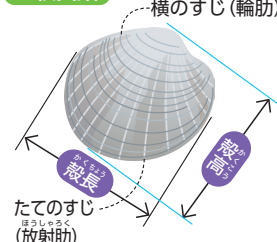
ウミウシ類



タコ類

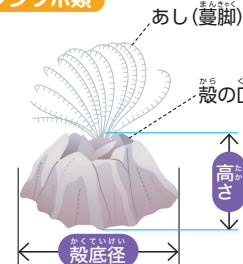


にまきがいの 二枚貝類

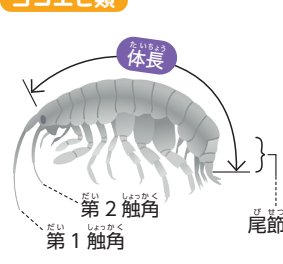


エビ・カニのなかま（節足動物）

フジツボ類



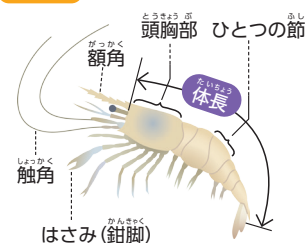
ヨコエビ類



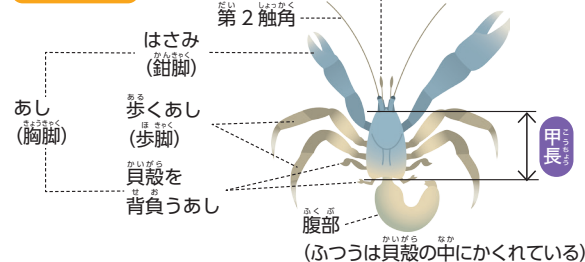
フナムシ類



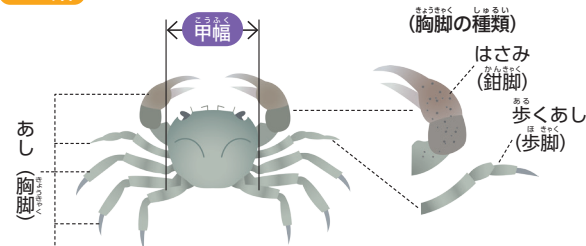
エビ類



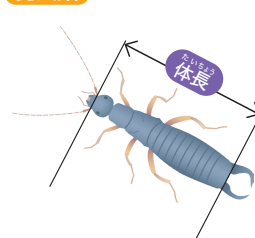
ヤドカリ類



カニ類



こんちゆうい 昆虫類



フジツボのなかま①

せつそくどうぶつ
節足動物

いっけん かい み おな せつそくどうぶつ
一見、貝のようにも見えますが、カニやエビと同じ「節足動物」のなかまです。潮が満ちてくると、羽根のようなあしを出してえさをとります。



カメノテ

〈カメノテ科〉

おお 大き さ たか 高さ 4cm かんきょう 環境 西・東・南/上/岩の上
すき間 ☆☆
クリーム色で、先たんはとがっています。水の中では羽根のようなあしを広げます。



クロフジツボ

〈クロフジツボ科〉

おお 大き さ かんきょう 環境 西・東・南/上/岩の上
殻底径 3cm ☆☆☆
紫色や灰色をしています。表面にはたくさんのすじがあって、ざらざらしています。



イワフジツボ

〈イワフジツボ科〉

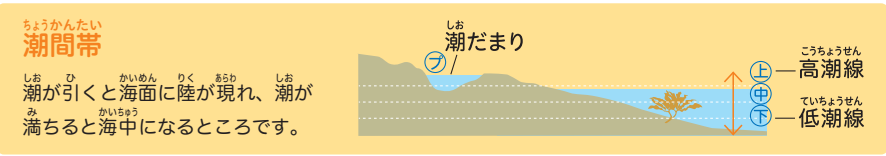
おお 大き さ かんきょう 環境 西・東・南/上/岩の上
殻底径 0.7cm ☆☆☆
灰色の小さなフジツボです。1か所にたくさんいます。



ケハダカイメンフジツボ

〈フジツボ科〉

おお 大き さ かんきょう 環境 東・南/上/イメンの中
殻底径 0.5cm ☆
とても小さな白いフジツボです。表面には毛が生えています。



タテジマフジツボ

〈フジツボ科〉

おお 大き さ かんきょう 環境 西/上/岩の上
殻底径 1.5cm ☆
外來種
円すい形をしていて、白い殻に赤紫色の線が入っています。



アメリカフジツボ

〈フジツボ科〉

おお 大き さ かんきょう 環境 西/上/岩の上 ☆
殻底径 1.5cm ☆
外來種
殻は白くてなめらかな感触です。殻のふちがぎざぎざしています。

まんきやく
蔓脚というあし

フジツボは、エビやカニと同じなかまです。潮が引くと、かたい殻の中にあるやわらかい体を守るために閉じこもりますが、水の中に入ると、蔓脚とよばれる羽根のようなあしを出してえさをとらえます。

せつそくどうぶつ
節足動物



シロスジフジツボ

〈フジツボ^か科〉

おお **大きさ** かくていけい 殻底径 1.5cm かんきょう 環境 にし 西 / (上) / いわ 岩の うえ 上 ☆☆

うす むらさきいろ しろ せん
薄い 紫色をしていて 白い はっきりとした 線

があります。



サンカクフジツボ

〈フジツボ^か科〉

おお **大きさ** かくていけい 殻底径 1.5cm かんきょう **環境** ひがし 東 / ④ / いわ 岩の / うえ 上 ☆

から くち さんかくけい ちよくせんじょう うすもも
 梨の口が三角形で ふちは直線状です 薄桃

色をしています。

しお
潮だまり



オオアカフジツボ

〈フジツボ^か科〉

おお 大きく かくていけい 殻底径 4cm かんきょう 環境 みなみ 南 / 中 / 下 / いわ 岩の うえ 上

ㄅㄅポーマアカフジツボにとてもよく似てい

ます。表面には小さなトゲがあります。

かいがん い もの う あ
海岸に生き物のかけらが打ち上がっていることがあります。右の写真は、貝殻のほか、フジツボの殻、カイメン、コウイカの甲、ウニの殻です。カルシウムやガラス質などのかたいものでできているため、形が残りまゝです。



ワレカラ・ヨコエビのなかま 節足動物

からだ ちい せつそくどうぶつ
体が小さな節足動物です。よく見ないと見つからないかもしれません。体
が左右方向に平たいグループで、端脚類ともよばれます。



マルエラワレカラ

〈ワレカラ科〉
おお たいちよう かんきよう ひがし せう かいそう
大きさ 体長 1cm 環境 東・南/④⑤⑦⑧/海藻の上 ☆☆
えら やじりし まる かつ び み お
鰓 (矢印) は丸い形です。尾部のあしは折れ
曲って、海藻にしがみつきます。



ニホンヒメハマトビムシ

〈ハマトビムシ科〉
おお たいちよう かんきよう せう いし した ☆
大きさ 体長 1cm 環境 南/⑤/石の下 ☆
あたま うえ あじか しゅうかく
頭の上にととても短い触角があります。おどろ
くとジャンプをする習性があります。



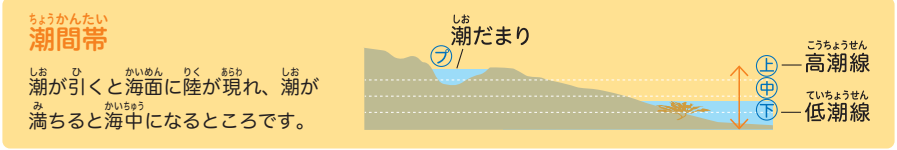
ホソハマトビムシ

〈ハマトビムシ科〉
おお たいちよう かんきよう にし せう かいそう
大きさ 体長 2cm 環境 西・南/④⑤/石の下 ☆
くろ ごうたく からだ おおがた
黒っぽくて光沢のある体をしています。大型
のヨコエビの一種です。



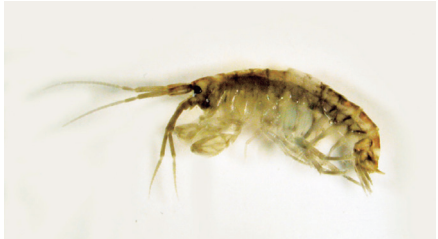
モクズヨコエビ

〈モクズヨコエビ科〉
おお たいちよう かんきよう にし せう かいそう
大きさ 体長 1cm 環境 西・南/④⑤⑦⑧/海藻の中 ☆☆
うす みどりいろ くら あかいろ よこ
薄い緑色に暗い赤色の横じまもようがありま
す。大きな目は赤褐色です。



フサゲモクズ

〈モクズヨコエビ科〉
おお たいちよう かんきよう にし いし した ☆☆
大きさ 体長 0.7cm 環境 西/④/石の下 ☆☆
だい しゅうかく なんもう は
第2触角にたくさんの軟毛が生えています。
とう ぶ ぜんぽうじょう ぶ おお め
頭部の前方上部に大きな目があります。



ニッポンモバヨコエビ

〈ヒゲナガヨコエビ科〉
おお たいちよう かんきよう にし かいそう なか
大きさ 体長 1.7cm 環境 西/④⑦/海藻の中 ☆
かつしよく みどりいろ ぜんしん くる こま
褐色から緑色をしています。全身に黒くて細
かな斑点があります。



アカヒゲドロソコエビ

〈ウンボソコエビ科〉
おお たいちよう かんきよう にし ひがし さいでい なか
大きさ 体長 0.9cm 環境 西・東/⑥/砂泥の中 ☆
ほそなが からだ しゅうかく しろ あか
細長い体をしています。触角は白と赤のしま
もようです。

いし した かに かな?
石の下に何かいるかな?

につちう しお ひ
日中、潮が引いているときは、生き物
は石のしたにかくれていることが多いで
す。そっと石の下を見てみましょう。



フナムシのなかま

せつそく どうぶつ
節足動物

からだ しょう げ ほうこう ひら
体が上下方向に平たいグループで、等脚類ともよばれます。ダンゴムシや
ダイオウグソクムシと同じグループです。



ニセスナホリムシ
〈スナホリムシ科〉
おお たいちよう かんきよう にし ひがし みなみ いし
大きさ 体長 1cm 環境 西・東・南/⊕⊕/石の
した すな なか ☆
はら クリーム色で、背中には茶色のもようが
あります。



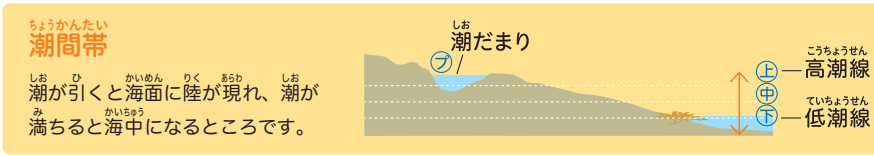
シリケンウミセミ
〈コツブムシ科〉
おお たいちよう かんきよう にし ひがし みなみ いし
大きさ 体長 0.5cm 環境 西・東・南/⊕⊕⊕/石
の下 ☆☆☆
お かし はば ひろ さんかくけい ちやいろ ふかどりいろ
尾の形は幅が広い三角形です。茶色や深緑色
をしています。



イソコツブムシ
〈コツブムシ科〉
おお たいちよう かんきよう にし ひがし みなみ いし
大きさ 体長 0.5cm 環境 西/⊕⊕⊕/石のすき
間 ☆
からだ えんけい まる こ たい
体は楕円形で、丸まることができます。個体
によって色はさまざまです。



イソヘラムシ
〈ヘラムシ科〉
おお たいちよう かんきよう みなみ いし した かいそう
大きさ 体長 2cm 環境 南/⊕/石の下や海藻の
うえ ★
ちやいろ 緑そなが からだ ほん ふと しょう
茶色で細長い体をしています。2本の太い触
角があります。



フタマタフナムシ
〈フナムシ科〉
おお たいちよう かんきよう にし ひがし みなみ いし
大きさ 体長 5cm 環境 西・東・南/⊕⊕⊕/岩
の上 ☆☆☆
おうかつよく せ なか ちやうおう び こ
黄褐色をしています。背中の中央部は濃い
褐色です。斑もようがあることがあります。

子どもをかかえたメス

フナムシやダンゴムシのなかまは、卵
からふ化して少し育つまで、メスが子
どもをおなかにだいてまもります。

3種になったフナムシ

これまでフナムシとよばれていた種が、
2024年に3種に分けられました。フタマ
タフナムシもそのひとつです。よく調べ
れば、ほかの種のフナムシもいるかもし
れません。右の写真はこの3種とは別に
江の島で見られるキタフナムシです。

エビのなかま

せつそく どうぶつ
節足動物

とうきようぶ お こう
頭胸部から尾まで甲らにおおわれていて、腹部は長く、尾はおうぎ状です。
10本のあし(きようきやく 胸脚)のうち、どれがはさみになるかは種によってちがいます。



イソスジエビ

〈テナガエビ科〉

おお たいしやう かんきやう
大きさ 体長 5cm 環境 西・東・南/⑦⑦/岩や
かいそう うえ
海藻の上 ☆☆☆
とうめい からだ
透明な体に黒いしまようがあります。尾に
きいろ まる
黄色の丸いもようがあります。



スジエビモドキ

〈テナガエビ科〉

おお たいしやう かんきやう
大きさ 体長 5cm 環境 西・南/④⑦⑦/岩や海
藻の上 ☆
からだ とうめい ほそ くる
体は透明で、細く黒いしまようの数、イ
ソスジエビよりも少ないです。



アシナガモエビモドキ

〈モエビ科〉

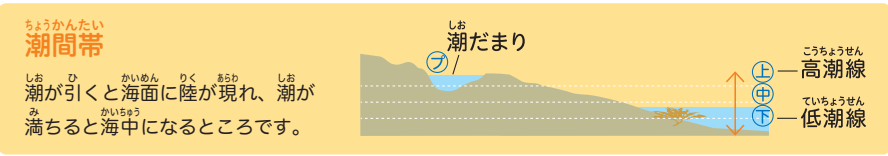
おお たいしやう かんきやう
大きさ 体長 4cm 環境 南/⑦/岩や海藻の上
☆
からだ かいそう かっしやく とうきようぶ
体は、海藻にまざれやすい褐色です。頭胸部
あか てん はい
に赤っぽい点がななめに入っています。



イソモエビ

〈モエビ科〉

おお たいしやう かんきやう
大きさ 体長 2.5cm 環境 東・南/⑦⑦/岩や海
藻の上 ★
いろ
色やもようはさまざまです。目の間から前に
で がっかく みじか
つき出た額角は、ほかのエビより短いです。



テッポウエビ属の一種

〈テッポウエビ科〉

おお たいしやう かんきやう
大きさ 体長 4cm 環境 南/⑦/石の下や砂の中
★
せ
背はしまようです。はさみでパチパチと音
だ すな すあな つく
を出します。砂に巣穴を作ります。

穴開け犯人は

りゅうぼく あな あ
流木に穴が開いていることがあります。
す。フナクイムシという二枚貝や、コ
ツブムシのなかまが(に まいがい)
あ
開けたものです。



江の島の海藻の森

ねんだいぜんはん
2010年代前半までは、江の島の周りにた
くさんのかいそう
海藻が生えていました。しかし、
きんねん かいそう
近年は海藻がなくなってしまっています。
かいそう た
海藻を食べるアワビのなかまやバテイラ
などのみ かく
見られる数も減っているようです。



ヤドカリのなかま①

せつそく どうぶつ
節足動物

おお かいがら せ お 多くのは貝殻を背負っていて、腹部はいつも貝殻の中です。全身が
なか ひ ぬく ぶ かいがら なか ぜんしん から
の中に引っこんでいることもあります。カニダマシも、このなかまです。



イシダタミヤドカリ

〈ヤドカリ科〉
おお かいがら せ お 大さ 甲長 5cm 環境 東/⑦/水中の岩場 ☆
あか ももいろ しる 赤、桃色、白のしまもようがあざやかです。
おとな て 大人の手のひらサイズにまで成長します。



ケブカヒメヨコバサミ

〈ヤドカリ科〉
おお かいがら せ お 大さ 甲長 2cm 環境 南/⑦⑦/水中の岩場 ☆
はさみとあしに毛が多く生えています。第2
しよくかく め え こ あか 触角や目の柄に濃い赤のたてじまが入ります。

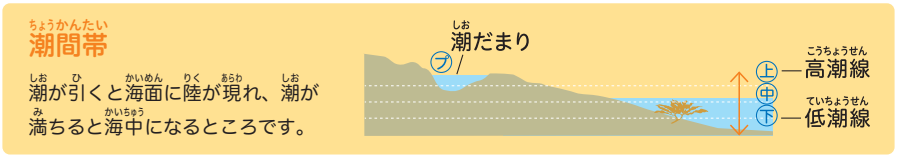
いそ かいがら おお 磯の貝殻の多くは……

いそ から かいがら すく 磯では空の貝殻は少なく、ヤドカリが
はい いる 入っていることが多いです。潮間帯に
いふか ばしよ かい から つか いない深い場所の貝の殻も使われます。



ブチヒメヨコバサミ

〈ヤドカリ科〉
おお かいがら せ お 大さ 甲長 0.5cm 環境 南/⑦⑦/水中の岩
ば 場 ☆
しよくかく ぜんしん け は 触角もふくめ、全身に毛が生えています。薄
かつしよく ふし こ あかいろ すな 褐色のあしの節は濃い赤色をしています。



コブヨコバサミ

〈ヤドカリ科〉
おお かいがら せ お 大さ 甲長 2.5cm 環境 西・東/⑦/砂泥の上 ☆
あしのオレンジ色、白、茶色のたてじまが目
だ ひ てきおおがた 立ちます。比かく的大型のヤドカリです。



イソヨコバサミ

〈ヤドカリ科〉
おお かいがら せ お 大さ 甲長 1.5cm 環境 西・東・南/⑦⑦/岩やれきの上 ☆☆☆
だいいしよくかく あお あおみどり かつしよく 第2触角は青く、青緑から褐色のはさみに黄
いろ はんてん きいろ 色の斑点があり、あし先は黒と黄色のしまです。



ユビナガホンヤドカリ

〈ホンヤドカリ科〉
おお かいがら せ お 大さ 甲長 0.5cm 環境 西・東/⑦⑦/砂泥の上 ☆☆☆
ほそなが かつしよく まだら あしが細長く、褐色の斑もようがあります。
すな ふし 砂のある北側でよく見られます。



クロシマホンヤドカリ

〈ホンヤドカリ科〉
おお かいがら せ お 大さ 甲長 1cm 環境 南/⑦⑦/水中の岩場 ☆
ふし い かい ばしよ すうほん こくかつしよく あしには節以外の場所に数本の黒褐色のたて
じまが、節のあたりに白の横じまがあります。

ヤドカリのなかま②

せつそく どうぶつ
節足動物



ホンヤドカリ
〈ホンヤドカリ科〉
おお 大きさ 甲長 0.5cm かんきょう 環境 西・東・南／⑤⑥⑦⑧
／岩の上や石の下 ☆☆☆
りよくかつしよく 緑褐色のあし先は白と黒のしまもよう、第2
しょうかく 触角も白と黒のしまもようです。



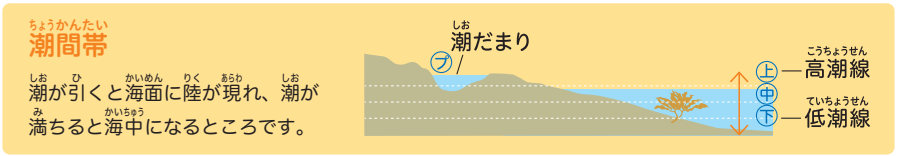
ホシゾラホンヤドカリ
〈ホンヤドカリ科〉
おお 大きさ 甲長 1cm かんきょう 環境 東・南／⑥⑦⑧／岩やれき
の上 ☆☆☆
だい 第2 触角は赤く、褐色のあしとはさみに水色
はんてん 斑点があります。



ケアシホンヤドカリ
〈ホンヤドカリ科〉
おお 大きさ 甲長 1cm かんきょう 環境 東・南／⑥⑦⑧／岩やれき
の上 ☆☆☆
だい 第2 触角が赤く、ホシゾラホンヤドカリに似
ていますが、斑点が黒いです。



ヤマトホンヤドカリ
〈ホンヤドカリ科〉
おお 大きさ 甲長 2cm かんきょう 環境 南／⑥⑦⑧／水中の岩やれ
きの上 ☆
あしと第2 触角は赤白のしまもようです。は
さみに毛がたくさん生えています。



イソカニダマシ
〈カニダマシ科〉
おお 大きさ 甲長 0.9cm かんきょう 環境 東・南／⑥⑦⑧／石の下
☆☆
はさみはとても大きいです。石の裏に張りつ
くようにかかれています。



コブカニダマシ
〈カニダマシ科〉
おお 大きさ 甲長 1.2cm かんきょう 環境 東／⑥⑦⑧／石の下 ☆
はさみあしはイソカニダマシよりがっしりして
いて、そこに小さなコブがいくつもあります。

あしの数のちがい

あし全体の数はみな同じで5対ですが、歩くあしは、ヤドカリは2対、カニダマシは3対、カニは4対です。歩くあし以外に、ヤドカリには、貝殻を背負うための小さなあしがあり、カニダマシには、退化したあしが小さくあります。

外から見えない 小さなあし

ヤドカリ (イソヨコバサミ)

カニのなかま①

せつそくどうぶつ
節足動物

2本のはさみと、かたく平たい甲らをもつ節足動物です。あしの形は種によってちがいが、例えば、泳ぎが得意な種では平たいオール状です。



フクイカムリ

〈カイカムリ科〉

大きさ 甲幅 2cm 環境 南/⑦/岩の下 ★
オレンジ色で丸っこい体形です。後方のあしは短く、カイメンやホヤを背負います。



トウヨウヤワラガニ

〈ヤワラガニ科〉

大きさ 甲幅 0.6cm 環境 南/⑦/岩や海藻のすき間 ★
体が小さくてやわらかく、甲らは丸みのある三角形です。海藻にかくれて暮らします。



ヨツハモガニ

〈モガニ科〉

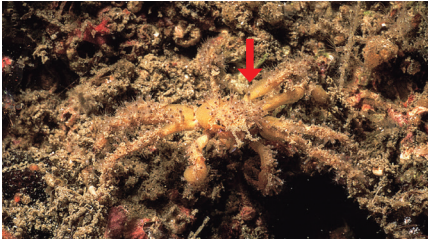
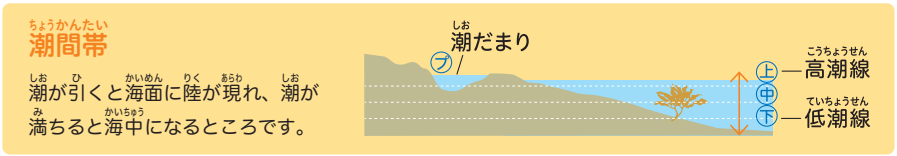
大きさ 甲幅 3cm 環境 東・南/⑦⑦/岩や海藻の上 ☆
甲らはたて長のひし形です。甲らの前方の大きなトゲに海藻をつけていることが多いです。



イソクズガニ

〈ケアシガニ科〉

大きさ 甲幅 3.5cm 環境 南/⑦⑦/水の中 ☆
全身に毛が生えています。毛に海藻やカイメンなどをくっつけてカモフラージュします。



アケウス

〈クモガニ科〉

大きさ 甲幅 2cm 環境 南/⑦/岩場 ★
甲らに対してあしがとても長いです。カイメンなどを全身にまとっています。



イシガニ

〈ワタリガニ科〉

大きさ 甲幅 10cm 環境 南/④/岩場 ☆
大型のカニで、はさむ力が強いです。一番後ろのあしはオール状で平たいです。



ベニツケガニ

〈ワタリガニ科〉

大きさ 甲幅 8cm 環境 南/⑦/岩のすき間 ☆
甲らは赤褐色で、左右の触角の間に突起が6つあります。



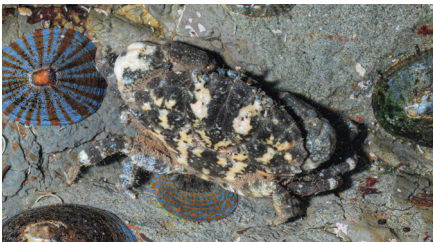
ゴイシガニ

〈オウギガニ科〉

大きさ 甲幅 2cm 環境 南/④/石の下や砂の中 ★
円形の白っぽい甲らに、赤い斑が入ります。甲らのふちから長い毛が生えています。

カニのなかま②

せつそくどうぶつ
節足動物



オウギガニ

〈オウギガニ科〉

おお 大き さ 甲幅 3.5cm かんきょう 環境 西・東・南／^{にし ひがし みなみ}⓪ⓉⓉ／
いし 石のすき間 ☆☆
こう 甲らはおうぎ形で、ごつごつしています。は
さみの力は強く、貝をこわします。



トガリオウギガニ

〈オウギガニ科〉

おお 大き さ 甲幅 2.5cm かんきょう 環境 東・南／^{ひがし みなみ}⓪ⓉⓉ／
いし 石の下 ☆
こう 甲らはひし形に近いおうぎ形をしています。
あしのふちに毛が生えています。



スベスベオウギガニ

〈スベスベオウギガニ科〉

おお 大き さ 甲幅 2.5cm かんきょう 環境 東・南／^{ひがし みなみ}⓪ⓉⓉ／
いわ 岩や貝 ☆
こう 甲らは楕円形で、丸くすべすべしています。
はさみの片方はとても大きいです。



シワセビロガニ

〈イソオウギガニ科〉

おお 大き さ 甲幅 2cm かんきょう 環境 南／^{みなみ}⓪ⓉⓉ／
いし 石の下 ★
こう 甲らは卵形で、濃い茶色です。はさみとあしは、
薄い茶色で先たんが黒いです。



イボイワオウギガニ

〈イワオウギガニ科〉

おお 大き さ 甲幅 4.5cm かんきょう 環境 南／^{みなみ}⓪ⓉⓉ／
いわ 岩のすき間 ☆☆
こう 甲らには、いぼ状のざらざらとした突起があ
ります。目が赤いのが特徴です。



ヒメケブカガニ

〈ケブカガニ科〉

おお 大き さ 甲幅 1cm かんきょう 環境 東／^{ひがし}⓪ⓉⓉ／
いわ 岩や海藻のすき間 ☆
こう あわい赤褐色で、毛が全身に生えています。
はさみは片方が大きいです。



トラノオガニ

〈ケブカガニ科〉

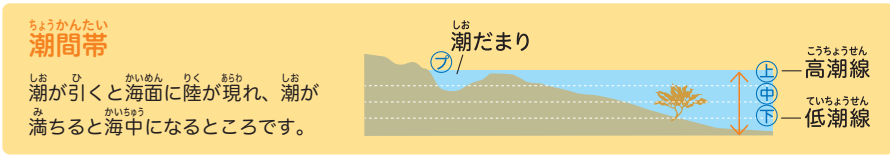
おお 大き さ 甲幅 1.5cm かんきょう 環境 西・東・南／^{にし ひがし みなみ}⓪ⓉⓉ／
かい 海の藻の根元 ☆☆
こう 甲らとはさみの先は褐色で、あしは斑もよう
です。



イワガニ

〈イワガニ科〉

おお 大き さ 甲幅 3.5cm かんきょう 環境 西・東・南／^{にし ひがし みなみ}⓪ⓉⓉ／
いわ 岩の上やすき間 ☆☆☆
こう 岩の上を活発に移動し、人が近づくと岩のす
き間にかくれます。甲らにしわがあります。



カニのなかま③

せつそく どうぶつ
節足動物



ヒメアカイソガニ
〈モクスガニ科〉
大きさ 甲幅 1cm 環境 西・南／④⑤⑥⑦／石の下
☆☆
全体的に細かい毛が生えていて、くすんだ赤色をしています。動きがゆったりしています。



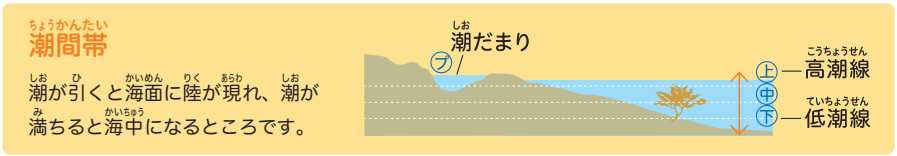
アカイソガニ
〈モクスガニ科〉
大きさ 甲幅 2.5cm 環境 南／④⑤⑥⑦／石の下 ☆
甲らはつるつるして、赤色からクリーム色地に赤紫色の点状のもようがあります。



モクスガニ
〈モクスガニ科〉
大きさ 甲幅 8cm 環境 西／④⑤⑥⑦／川の近く ★
産卵期を迎えた大きな個体が川からやってきます。はさみにふさふさの毛が生えています。



ケフサイソガニ
〈モクスガニ科〉
大きさ 甲幅 3cm 環境 西・東・南／④⑤⑥⑦
／岩のすき間や貝の群れの中 ☆☆
オスははさみの間に毛のふさがあります。メスの腹側には黒い斑点があります。



タカノケフサイソガニ
〈モクスガニ科〉
大きさ 甲幅 3cm 環境 西／④⑤⑥⑦／岩のすき間
や貝の群れの中 ☆☆
ケフサイソガニに似ていますが、オスははさみの毛が多く、腹側に黒い斑点はありません。



イソガニ
〈モクスガニ科〉
大きさ 甲幅 3.5cm 環境 西・東・南／④⑤⑥⑦
／岩の上やすき間 ☆☆☆
甲らは丸みを帯びた四角形です。水際で活動するようすがよく見られます。

カニの卵…、ではない

このカニがおなかにかかえているオレンジ色のものは、フクロムシという寄生虫です。カニの卵は小さなつぶが集まったものですが、フクロムシはかたまり状なので、見分けることができます。フクロムシはカニと同じ節足動物です。

フクロムシ

カニのなかま④

せつそく どうぶつ
節足動物



ヒライソガニ

〈モクスガニ科〉

おお 大きさ 甲幅 2.5cm かんきょう 環境 西・東・南/④⑤⑥⑦
／石の下 ☆☆☆
甲らがとくに平たいです。色やもようのバリ
エーションがとても多く見られます。



ヒメベンケイガニ

〈ベンケイガニ科〉

おお 大きさ 甲幅 1cm かんきょう 環境 西・東・南/④⑤⑥/岩
のすき間や貝の群れの中 ☆
全身は毛におおわれていて、はさみの先が赤
いです。



カクベンケイガニ

〈ベンケイガニ科〉

おお 大きさ 甲幅 2cm かんきょう 環境 西・南/④/石の下や植
物のかげ ★
甲らは四角く、斑もようがあります。潮間帯
よりも上の岩場や茂みにいることが多いです。



あ ゆう せい かつ 浮遊生活をする子ども

せつそくどうぶつ おお こ じだい ふゆう
節足動物の多くは、子ども時代に浮遊
(水中をただよう) 生活を送ります。写
真は、おとなになる一歩手前の姿です。

Column

江の島の陸地にすむカニを調べる

伊藤 寿茂 (相模川ふれあい科学館・アクアリウムさがみはら)

かいがん たんすい 海岸なのに淡水のカニが？

江の島の近くで働くからには、その自然について知っておきたいと思い、調査を始めたのが、新江ノ島水族館に勤務していた2010年ごろです。

手がけるなら、あまり調べが進んでおらず、かつ、あつかって楽しい生き物と考え、潮間帯より上、飛まつ帯や沢すじにすむカニを調べることにしました。

調査の結果、おなじみのイソガニやイワガニだけでなく、アカテガニやベンケイガニなど、本来であれば川と海が混ざる場所にすむ半陸生のカニたちも多く生息することがわかったのです。

境川の河口が自然の泥干潟であった時代には、これらのカニは現在よりも広い範囲に生息していたはず。境川の河口は護岸され、これらのカニは川にすめなくなりましたが、目の前にある江の島でひっそりと、しかし着実に世代交代をくり返していたのです。思わずエールを送りたくなります。

えんすい の 「塩水くさび」に乗って

島内にすむカニたちは、サワガニを除いて、海中で幼生（子ども）時代をすごします。プランクトンである幼生は、水底に沿って海水が川をさかのぼる「塩水くさび」に乗り、川の中へともどって行くといわれます。島の沿岸で行った水質調査の結果から、島の西側は実際の河口からかなり沖合まで低塩分であることがわかっていきますから、島の北西岸が事実上の境川の左岸として機能していると考えられます。きっと満潮時には、塩水くさびが水底をなめるように島に接岸しているものと思われ、カニの幼生たちを島へと送り届けているユーモラスなようすが想像されます。



江の島北西岸の岩のすき間にひそむ、クロベンケイガニとベンケイガニ

カニのなかま⑤

せつそく どうぶつ
節足動物

ショウジンガニ

〈ショウジンガニ科〉

おお 大きさ 甲幅 6cm 環境 南／㊦㊧㊨／岩の上 ☆☆

☆☆

はさみに白いつぶの列があり、あしは長く、岩に張りつくような体勢で素早く動きます。



トゲアシガニ

〈トゲアシガニ科〉

おお 大きさ 甲幅 4cm 環境 南／㊦／岩の上 ☆☆

平らな丸い甲らに、薄い緑色のすじがあります。あしがとても長いです。



オオシロピンノ

〈カクレガニ科〉

おお 大きさ 甲幅 0.5～1cm 環境 西／㊦／二枚貝の中 ★

イガイやカキなどの二枚貝の中にメスがすみす。甲らは透けていて、あしが細いです。



クロピンノ

〈カクレガニ科〉

おお 大きさ 甲幅 0.4～0.7cm 環境 東・南／㊦㊧㊨／ケガキの中 ★

ケガキの中で暮らします。黒紫で、体がやわらかく、あしはとても細いです。

こんちゅう 昆虫のなかま

せつそく どうぶつ
節足動物

昆虫も、エビやカニに近いなかまの節足動物です。江の島の海岸には、ハサミムシやアメンボのなかまがいます。



ハマベハサミムシ

〈マルムネハサミムシ科〉

おお 大きさ 体長 3cm 環境 西／㊦／砂の上 ☆

はねのない黒い体で、おしりにはさみがあります。あしは黄色からオレンジ色です。

海に昆虫は少ない

海に適応している昆虫はとても少ないです。塩分の高さ、酸素が少ないことなどが理由として考えられています。



江の島の海にいるケシウミアメンボ

海のごみ

海岸にはさまざまなものが打ち上がります。例えば海藻はヨコエビ類などのえさとなりますが、プラスチックは分解されずに残り、環境に悪影響をおよぼしています。



参考文献

書籍

『新 写真でわかる磯の生き物図鑑』 今原幸光（編著） 2023 海文堂出版株式会社
『小学館の図鑑 NEO POKET 海辺の生物』 白山義久ほか 2011 株式会社小学館
『日本近海産貝類図鑑』【第二版】 奥谷喬司（編著） 2017 東海大学出版部
『写真でわかる磯の生き物図鑑』 今原幸光（編著） 2013 トンボ出版
『海洋生物ガイドブック』 益田一 1999 東海大学出版
『小学館の図鑑 NEO 新版 水の生物』 白山義久ほか 2019 株式会社小学館
『ナマコガイドブック』 本川 達雄、今岡 亨、楚山いさむ 2003 株式会社阪急コミュニケーションズ
『ヨコエビガイドブック』2 版 有山啓之 2023 海文堂出版株式会社
『環形動物多毛類』 第 2 版 今島実 2004 株式会社生物研究社
『干潟ベントスフィールド図鑑』 鈴木孝男、木村昭一、木村妙子、森敬介、多留聖典 2013 特定非営利活動法人日本国際湿地保全連合

論文

江の島の潮間帯動物相 植田育男・萩原清司 1988 神奈川自然誌資料, (9) : 23-29
江の島の潮間帯動物相 II 萩原清司・植田育男 1993 神奈川自然誌資料, (14) : 53-58
江の島の潮間帯動物相 III 植田育男・萩原清司・崎山直夫 1998 神奈川自然誌資料, (19) : 31-38.
江の島の潮間帯動物相 IV 植田育男・萩原清司・崎山直夫・足立 文 2003 神奈川自然誌資料, (24) : 25-32
江の島の潮間帯動物相 V 植田育男・萩原清司・櫻井 徹 2008 神奈川自然誌資料, (29) : 163-169.
江の島の潮間帯動物相 VI 植田育男・萩原清司・伊藤寿茂・北嶋 円・村石健一 2013 神奈川自然誌資料, (34) : 25-32
江の島の潮間帯動物相VII 伊藤寿茂・植田育男・萩原清司・北嶋 円・岩崎猛朗・村石健一・崎山直夫 2018 神奈川自然誌資料, (39) : 13-21
江の島の潮間帯動物相 VIII 西川湧馬・植田育男・萩原清司・崎山直夫・伊藤寿茂・北嶋 円・加登岡大希・藤田温真 2023 神奈川自然誌資料, (44) : 89-100.
江の島潮間帯のフジツボ相 植田育男・萩原清司 1990 神奈川自然誌資料, (11) : 125-129.

ウェブサイト

BISMaL- ビスマル - 国立研究開発法人海洋研究開発機構
<https://www.godac.jamstec.go.jp/bismal/j/>

謝辞

本書のきっかけである「江の島の潮間帯動物相調査」は 1987 年、当時江の島水族館に勤務していた植田育男氏と萩原清司氏が始めたもので、当館が江の島を継続調査する礎となっております。調査にあたり、江の島片瀬漁業協同組合や湘南海上保安署、江の島ヨットハーバー、島民のみなさまにご協力をいただきました。池田等先生、大谷道夫先生、西栄二郎先生には専門的な目線よりご校閲をいただきました。地形の変化については平塚市博物館の野崎篤氏に助言をいただきました。また、河津結実氏、宮村美帆氏、尾和みゆき氏のお陰で本の形になったと言っても過言ではありません。本書は海の学びミュージアムサポートの助成金を活用し制作いたしました。関わってくださった多くの方々に深く御礼申し上げます。

北嶋 円

執筆協力・制作

校閲

池田 等（相模湾海洋生物研究会）
大谷道夫（大阪市立自然史博物館）
西 栄二郎（横浜国立大学）
なぎさの体験学習館
小学館クリエイティブ

画像協力

池田 等（相模湾海洋生物研究会）
なぎさの体験学習館
藤沢市藤澤浮世絵館

イラスト

倉本ヒデキ（p.10-15、p.112-114、p.117）
新江ノ島水族館 デザインチーム

デザイン

櫻元久幸（新江ノ島水族館）
ニシエ芸株式会社

編集

新江ノ島水族館
尾和みゆき・河津結実（小学館クリエイティブ）
宮村美帆

DTP

ニシエ芸株式会社

印刷

柴坂徹也（TOPPAN クロレ株式会社）

特別協力

船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」



執筆・撮影 (五十音順)

足立 文 (新江ノ島水族館)

伊藤寿茂 (相模川ふれあい科学館・アクアリウムさがみはら)

植田育男 (神奈川大学)

北嶋 円 (新江ノ島水族館)

崎山直夫 (新江ノ島水族館)

鈴木良博 (新江ノ島水族館)

萩原清司 (横須賀市自然・人文博物館)

西川湧馬 (新江ノ島水族館)

えのすい^{うみ}海のずかん

え^{しま}江の島むせき^{かいがん}ついで^{ずかん}海岸どうぶつ図鑑

2025 年 2 月 10 日 初版第 1 刷発行

編著・発行 株式会社新江ノ島水族館
〒251-0035
神奈川県藤沢市片瀬海岸 2-19-1
電話 0466-29-9960
URL <https://www.enosui.com/>

印刷・製本 TOPPANクロレ株式会社

©2025 Enoshima Aquarium
ISBN 978-4-9907871-1-0

Printed in Japan

本書の一部または全部を無断で複製、転載、複写（コピー）、スキャン、デジタル化、放送等の二次使用をすることは、著作権法上での例外を除き禁じられています。代行業者等の第三者による本書の電子的複製も認められておりません。

第一種動物取扱業に関する表示 事業所の名称：新江ノ島水族館 事業所の所在地：神奈川県藤沢市片瀬海岸 2-19-1 登録に係る第一種動物取扱業の種別：展示 動愛第 210512 号 登録年月日：2007 年 5 月 10 日 登録の有効期間の末日：2027 年 5 月 9 日 販売 動愛第 210513 号 保管 動愛第 210514 号 貸出し 動愛第 210515 号 登録年月日：2017 年 4 月 14 日 登録の有効期間の末日：2027 年 4 月 13 日 動物取扱責任者：白形知佳・崎山直夫